

平成25年10月15日

**報道機関各位**

株式会社 デコス



**デコス、「第15回 グリーン購入大賞」にて大賞および  
経済産業大臣賞を受賞！  
12/13（金）エコプロダクツ2013（東京ビッグサイト）にて表彰式**

2013年10月15日、株式会社デコス(代表取締役:安成信次、本社:山口県下関市 以下、デコス)は、「第15回グリーン購入大賞」(主催:グリーン購入ネットワーク(GPN) 後援:環境省、経済産業省、農林水産省、日本経済団体連合会、WWFジャパン、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社)において、「新聞紙をリサイクルした断熱材『デコスファイバー』&断熱欠損を生じない乾式吹込み工法『デコスドライ工法』におけるカーボンマーケティングを通じたグリーンコンシューマーの拡大」にて、栄えある大賞および経済産業大臣賞を受賞しました。

これからもデコスは、低炭素社会の構築に向け、「実質排出ゼロカーボン」も可能な断熱材を通じて、グリーンコンシューマーの拡大で社会に貢献できるよう努めます。

《応募タイトル》

**『デコスファイバー&デコスドライ工法におけるカーボンマーケティングを通じたグリーンコンシューマーの拡大』**

他の断熱材に比べて製造エネルギーが少なく\*、高い断熱性能を長期にわたり発揮し、暖冷房費を低減する、新聞紙をリサイクルした木質繊維系断熱材(デコスファイバー)と乾式吹込み工法(デコスドライ工法)を全国にFC事業で普及展開しています。

また、責任施工を担保するため、施工技術と断熱知識の研鑽に努める日本セルローズファイバー断熱施工協会(JCA)を設立し、断熱施工技術者の各種認定試験や勉強会、保証制度等を運営しています。断熱材の出荷量は、平成12年221t(約277棟)から平成24年2,059t(約2,574棟)と、約10年で10倍近くに増加しました。

さらに、建築用断熱材として日本で初めてカーボンフットプリント(以下、CFP)認証を取得し、経済産業省試行事業にてカーボン・オフセットを行う等、環境配慮型省CO2製品としてカーボンマーケティングを推進し、グリーンコンシューマーの拡大に努めています。

\*断熱性能が同等のグラスウール24K同量との製造エネルギー比較

デコスファイバー:グラスウール=1:29.7(t-CO2・デコス試算)

《評価ポイント》

建築物は使用される期間が長期に亘ることから、施工時のみならず、各段階で様々な環境配慮が求められる。

当事例は、素材や工法の取組のみならず、普及拡大の仕組み構築並びに顧客に環境と経済的メリットを提供できる取組として評価された。

また、建築用断熱材として日本初のCFPに認定、CFPを活用したカーボン・オフセットなど、単に製品のプロモーションにとどまらず、広くグリーンコンシューマーの育成に寄与されていると高く評価された。

●応募内容

**応募内容** (前ページを含め、合計4ページ以内で記述して下さい。図や写真も使用可能です。)

1. 応募する活動の名称・タイトル

デコスファイバー&デコスドライ工法におけるカーボンマーケティングを通じたグリーンコンシューマーの拡大

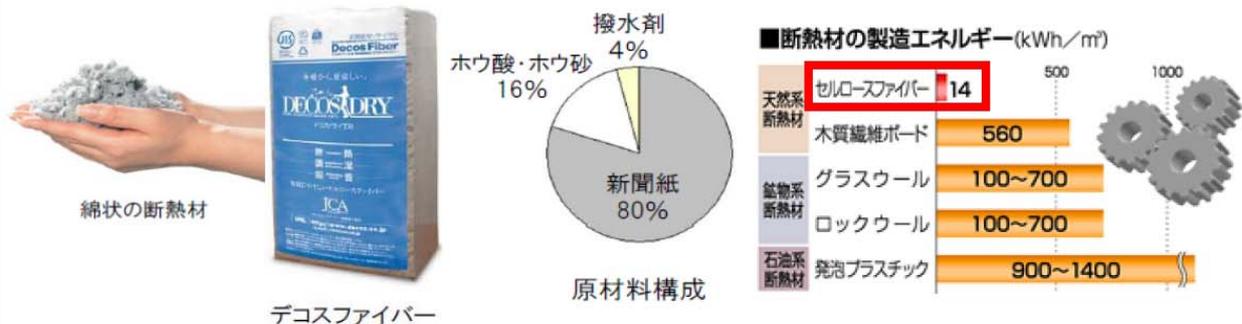
2. 活動の概要

応募テーマとの関連を示す活動内容を記入します。

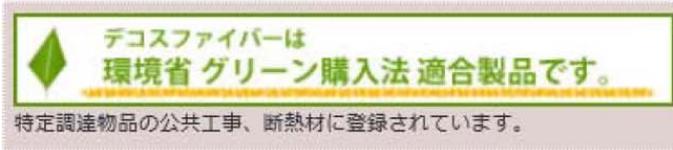
弊社では、ライフサイクルCO2の発生が極めて少なく、高い断熱性能を長期に渡り発揮し暖冷房費を低減する、木造建築にとっても相性のよい木質繊維系断熱材と工法を全国にFC事業で普及展開を図っている。また、建築用断熱材として日本で初めてCFP認証を取得し、その数値に基づき経産省試行事業にてカーボン・オフセットを行うなど、環境配慮型省CO2製品としてカーボンマーケティングを推進し、グリーンコンシューマーの拡大に努めている。

(1) デコスファイバー

- ・新聞紙をリサイクルしてつくる木質繊維系セルロースファイバー断熱材。JIS A 9523 適合品。無垢の木同様、ホルムアルデヒド発散建築材料規制対象外、F☆☆☆☆同等品。
- ・製造時のエネルギーは電気のみ。水や熱を使用しないため、他の断熱材に比べ非常に製造時のエネルギーが少ない。

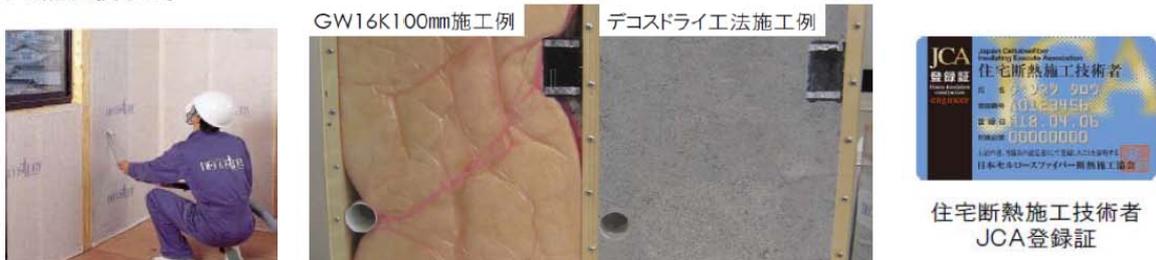


- ・グリーンマーク表示認証、エコマーク認定取得。
- ・環境省 グリーン購入法・特定調達品目における公共工事断熱材の判断基準を満たす、グリーン購入法適合製品。
- ・山口県認定リサイクル製品に認定。
- ・山口工場（山口県下関市）と新設した関東工場（埼玉県飯能市）の2カ所で生産。



(2) デコスドライ工法

- ・綿状のデコスファイバーを壁体内に乾式（接着剤や水は使わない）で吹き込む工法。
- ・配線、配管、スイッチ、コンセント、筋交い、耐震金物など、複雑な壁内部にも綿状の断熱材を隙間なく吹き込むため、断熱欠損なし。



壁へのブローイング

- ・JCA※認定施工技術者による責任施工と施工報告システムの履歴管理にて、壁体内20年無結露保証制度を実施。
- ※JCA：日本セルロースファイバー断熱施工協会
- 「断熱は施工が命」との考えのもと、断熱施工技術者の各種認定や施工技術・断熱知識の向上を目的として設立。

(3) カーボンマーケティング

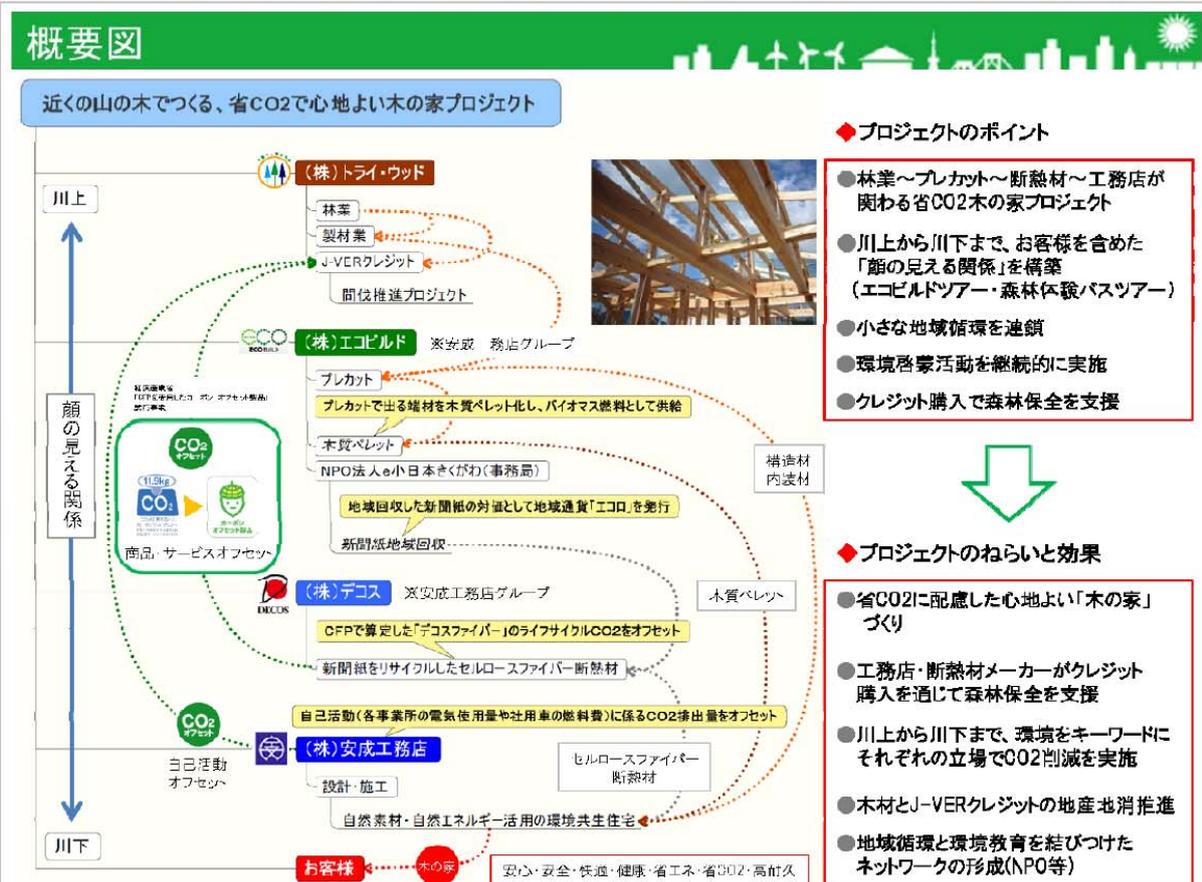
CFP で CO2 排出量の「見える化」を行い、カーボン・オフセットで「自分ごと化」「減らす化」。国の施策に準じて「実質排出ゼロカーボン断熱材」を日本で初めて実現する。

- ・2011年11月 建築用断熱材として日本初、経産省カーボンフットプリント制度試行事業「CFP マーク認定取得」。
- ・2012年12月 経産省「CFP を活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に採択。(下図: 概要図参照)
- ・2013年1月 第2回カーボン・オフセット大賞優秀賞受賞。(上記内容にて受賞)
- ・2013年3月 「APEC carbon labeling workshop」にて、「カーボンラベルの中小企業での活用」日本代表事例として産業環境管理協会より報告。



(4) グリーンコンシューマーの拡大

- ・関連会社と連携し、お客様と顔の見える関係で木の家づくり。定期的に工場見学を実施、環境啓蒙活動を行う。



これらの取組みを随時プレスリリース～パブリシティ創出。全国各地の外部セミナーにて積極的に講演することで、建築分野以外へ広くデコスの認知度UPを果たす。(講演実績9件)

また、CFP やカーボン・オフセットなどの制度や展開活用事例を報告することで、様々な分野の方へ参画・普及啓蒙を促す。

さらにまた、弊社が事務局を務める日本セルローズファイバー工業会（JIS 認証取得メーカー4社の団体）では、他の3社へCFP取得をサポート。デコスだけではなく団体一丸となって、セルローズファイバーの省CO2性をCFP認証でアピールし、低炭素建築物への採用を促進し、グリーンコンシューマーの拡大に寄与する。

住宅以外にも、林野庁「公共建築物等木材利用促進法」適用木造建築物への採用に向け、設計事務所プロポーザルのキーワードとなる「環境配慮型」「省CO2性能」を積極的にアピールして行く。

3. 活動による成果・効果（できるだけ具体的・定量的な内容をご記入下さい。）

下記①～④のうち、該当する項目を○で囲みます（○は1つ以上）。その項目との関連を示す活動成果・効果を記入します。

◆グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点

- ①【組織的活動】組織的なグリーン購入の取り組み
- ②【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり
- ③【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績
- ④【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発

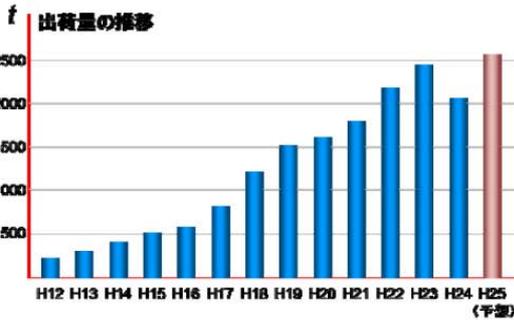
◆グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点のうち、該当する項目との関連を示す活動成果・効果

② 【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり

- ・FC本部としてデコスドライ工法施工代理店を募集、会員数の増加。（H12年26社⇒H25年66社）
- ・デコスとして普及啓蒙活動を継続して実施。（対象＝デコスドライ工法施工代理店・工務店・設計事務所・施主）
- ・JCAとして断熱施工技術者の各種認定試験や施工技術・断熱知識の向上を図る。  
（断熱施工技術者220名・総会14回・経営者会議7回・ブローイングピック（断熱施工技術者競技会）6回・定例勉強会97回）
- ・優れた省CO2性能を活かすため、「カーボンマーケティング」を積極的に実施。従来に無い省CO2という環境側面を前面に押し出した観点からデコスの認知度を上げる。また、他社に無い語ることの出来る知識を広める。

③ 【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績

- ・出荷量の増加＝断熱性能のよい家が増加。H12年221t（約277棟）⇒H24年2,059t（約2,574棟）



滋賀県 びわこ地球市民の森 森づくり協働活動センター

- ・滋賀県初の「公共建築物等木材利用促進法」適用木造建築物に採用。CFPの取組みが高く評価される。
- ・断熱性能が同等のグラスウール24K同量との製造エネルギー比較  
デコスファイバー：グラスウール＝1：29.7（t-CO2・当社試算）

④ 【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発

- ・プレスリリース3本、パブリシティ創出60本以上。
- ・デコスドライ工法施工代理店勉強会・News配信で説明・啓発。  
HPコンテンツ、配布資料作成、広告デザイン変更。
- ・外部講演9本、展示会多数出展パネル展示、資料配布。工場見学、製品紹介の際、毎回説明。
- ・「炭素の足跡」穴あき名刺5,000枚以上配布。



4. 活動に関して、①先進性・独自性、②継続性・発展性についてご記入下さい。（各200字程度）

① 先進性・独自性

- ・建築用断熱材として日本初、「CFP認証取得」～経産省「CFPを活用したカーボン・オフセット製品」試行事業採択～第2回カーボン・オフセット大賞優秀賞受賞～「APEC carbon labeling workshop」で、「カーボンラベルの中小企業での活用」日本代表事例として産業環境管理協会より報告。
- ・責任施工を担保するため、断熱知識と施工技術の研鑽に努める組織運営と保証制度運営。

② 継続性・発展性

- ・関東工場でもCFP認証取得予定、CO2の見える化と削減を継続。
- ・2020年省エネ義務化に向け、建築業界関係者へ「健康＝断熱」の考え方と断熱知識の周知とともに環境配慮型製品として再評価、普及発展が見込まれる。
- ・環境配慮型省CO2断熱材として、林野庁「公共建築物等木材利用促進法」適用木造建築物への採用促進や、産業環境管理協会とともに国交省「LCCM住宅認定制度」へのCFP算定値～カーボン・オフセット採用を働きかけ、住宅業界全体でライフサイクルCO2排出量削減へ繋げて行く。

## ●グリーン購入大賞

<http://www.cnbc.or.jp/02activity/01award/index.html>

グリーン購入大賞は、環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度です。

グリーン購入の普及に関する先進事例を表彰し、一層の取り組みを奨励するとともに、先進事例の紹介を通じてグリーン購入の普及と質的向上を図ることを目的としています。

グリーン購入大賞の特徴は、グリーン購入の普及・拡大に関して下記4項目を評価する点です。

- (1)【組織的活動】組織的なグリーン購入の取り組み
- (2)【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり
- (3)【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績
- (4)【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発

主催:グリーン購入ネットワーク(GPN)

後援:環境省、経済産業省、日本経済団体連合会、WWFジャパン、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社

### 【表彰式】

12月13日(金)10:15～11:10

エコプロダクツ2013 東京ビッグサイト環境コミュニケーションステージにて表彰式を行います。

### 【事例発表会】

12月13日(金)日時:12月13日(金)14:00-16:00

エコプロダクツ2013 東京ビッグサイト会議棟1階 102会議室にて受賞団体の事例発表会を行います。

[テーマ]第15回グリーン購入大賞受賞事例発表会&ガイドラインの最新動向  
～製品の購入からサービスへ 社会を変えるグリーン購入～

### 【エコプロダクツ2013に出展】

東1ホール1-018

GPNはエコプロダクツ2013に出展します。

## ●グリーン購入ネットワーク(GPN)とは

<http://www.gpn.jp>

グリーン購入の取組を促進するために、1996年2月に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。

グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境データを掲載したデータベースの運営などを行っています。

2013年7月時点の会員数は、2,452団体(企業2,016、行政201、民間団体235)です。

**<第15回受賞団体一覧>**

賞	受賞団体	タイトル
大賞・ 環境大臣賞	環境・復興支援シンジケートローン (NEC キャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行)	エコ資金調達・運用における金融サプライチェーンのグリーン化普及・拡大ー金融行動原則の実践ー
大賞・ 経済産業大臣賞	株式会社デコス	デコスファイバー&デコスドライ工法におけるカーボンマーケティングを通じたグリーンコンシューマーの拡大
大賞・ 農林水産大臣賞	株式会社開成	バイオガス発電による低コスト・高付加価値農産物の製造・販売
大賞	株式会社滋賀銀行	環境対応型金融商品・サービスの活用と普及促進の取り組みについて
	葛巻町(岩手県)	循環型社会の構築によるグリーン購入の実践
	生活協同組合コープさっぽろ	コープさっぽろ ー環境負荷低減の取り組みー
優秀賞	中越パルプ工業株式会社	放置竹林問題の解決に向けた竹紙の利用促進の取り組み
	生駒市(奈良県)	公共施設内における会議等でのリユースびん入り商品導入を通じた率先した環境行動推進の取り組み
	地球環境関西フォーラム	身近な話題で分かりやすくー環境マンガによる新展開ー
審査員奨励賞	味の素株式会社	毎日の食卓にエコを広げる、 “食卓からのエコライフ”の推進活動
	水俣特産焼酎づくり実行委員会	地域から日本を照らそう『芋焼酎 水俣あかり』 ～市民協働で休耕地等を活用した焼酎づくりで、環境に配慮し持続可能な資源循環型社会の構築を目指します!～

●会社概要

商 号 :株式会社 デコス  
代表取締役 :安成信次  
本 社 :〒751-0851 山口県下関市熊野西町 6-13  
TEL 083-255-2020 FAX 083-255-2010  
山口工場 :〒750-0313 山口県下関市菊川町田部 155-7  
TEL 083-288-0300 FAX 083-288-0310  
関東工場 :〒357-0069 埼玉県飯能市茜台 3-2-10  
TEL 042-978-8901 FAX 042-978-8902  
営 業 所 :〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F  
TEL 03-3516-8056 FAX 03-3272-2753  
資 本 金 :3,000 万円  
設 立 :昭和 49 年 8 月 30 日  
そ の 他 :第 3 回エコプロダクツ大賞 審査委員長特別賞受賞  
セルロースファイバー断熱材製造 新 JIS 認証取得 認証番号 TC0607016  
エコマーク認定 認定番号 07 123 031  
平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(技術部門)受賞  
平成 22 年度モーダルシフト優良荷主表彰  
平成 23 年 経済産業省カーボンフットプリント制度 建築用断熱材認定  
平成 25 年 第 2 回カーボン・オフセット大賞優秀賞受賞  
平成 25 年 山口県認定リサイクル製品に建築用断熱材で初めて認定  
JCA 日本セルロースファイバー断熱施工協会 事務局  
※施工技術者研修や施工技術者認定などを行う。施工代理店が加盟。  
日本セルローズファイバー工業会 事務局  
※セルロースファイバー国内製造メーカー4 社(王子製袋(株)、日本製紙木材(株)、  
(株)デコス、吉水商事(株))が加盟。断熱建材協議会の構成団体。

●お問合せ先

株式会社 デコス 断熱事業部 東京OFFICE  
担当 田所憲一  
TEL : 03-3516-8056 FAX : 03-3272-2753  
Mobile:080-6408-4266 E-mail : [k-tadokoro@decos.co.jp](mailto:k-tadokoro@decos.co.jp)

